

●新リアル紙幣(50, 100リアル札)の見分け方について

偽札の見分け方について、ブラジル中央銀行サイト内にて紹介されていますので、お知らせいたします。

www.bcb.gov.br

www.novanotas.bcb.gov.br

●クリチバ治安情報(クリチバ市セントロ地区高級ホテルにおける強盗事件の発生)

11月17日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は強盗団(男2名)が宿泊客と偽り、クリチバ市セントロ地区に所在するホテルを襲撃した旨報じています、概要を以下のとおりお知らせします。

11月17日午前6時半頃、クリチバ市セントロ地区高級ホテルが襲撃された。強盗団が宿泊客と偽り、チバジ通りホテル・ヴィッラジオ・レキンテに入った。同強盗団は受付職員を銃で脅し、レジ内の800リアル及び職員の携帯電話を強奪、同職員を部屋に閉じ込めた。同職員は何とか部屋から抜け出し軍警察に連絡、軍警察が50分後到着した。職員は、ずっと強盗団に銃口を向けられており、恐怖にさらされていた旨言及した。強盗犯の作業時間は約10分で、朝食時間帯であったにもかかわらず気づいた宿泊客はいなかった。

●パラナ治安情報(軍警察総隊長の交代)

11月26日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、軍警トップ(政治任命職)のパラナ州軍警察総隊長マルコス・テオドロ・シェレメタ大佐が賭博関係者との関係を認めた旨報じています、概要を以下のとおりお知らせします。

1. パラナ州軍警察総隊長マルコス・テオドロ・シェレメタ大佐は、11月24日の記者会見で賭博関係者との関係を認めた。同大佐は、賭博関係者とのつながりが原因で総隊長の職を罷免されたわけではなく、パラナ州公安長官との関係悪化により総隊長職を離職した旨述べた。同大佐によれば、離職の主たる理由は、クリチバ市及び大都市圏の州政府公務員による軍警察病院利用可否につき州公安長官と意見の相違があったことによるものであるとのこと。

2. 同大佐の亡き父は、宝くじ店を経営しており、賭博も扱っていた。同大佐は、現在も大佐の父の知人であった賭博関係者と関係がある旨認めているが、賭博関係者に対し便宜を図ったことはなく、また賭博犯罪への関与及び賭博の収益收受についても否定した。

●邦人被害(リオ・デ・ジャネイロにおける邦人のタクシー恐喝被害)

リオ・デ・ジャネイロにおいて邦人がタクシー恐喝に遭遇しました、概要等を以下のとおりお知らせします。

1. 概要

11月25日（金）正午頃、邦人家族が自宅付近のプライア・ド・フラメンゴ大通りのタクシー乗り場（在リオ日本総領事館から南方約500メートル）からサントス・ドゥモン空港に行った際、料金が14レアルだったため、10レアルと5レアル札各1枚を渡したところ、運転手は10レアル札を2レアル札とすり替え、「7レアルしかない」と主張した。

しばし押し問答になったが、トラブルを避けるため、7レアルの返還を受けた後で20レアル札1枚を渡したところ、運転手は今度は20レアル札を10レアル札とすり替え「4レアル足りない」と主張した。

再度不服を申し立てると、運転手は手を懐に入れ、手をピストルの形にして威嚇したので、気味が悪くなり、タクシーのドアを開けて逃げようとしたところ、ドアがロックされていたため、財布にあった小銭を全部渡して「これ以上ない」と示すと、運転手はドアロックを解除した。邦人家族が車から降りるとタクシーは猛スピードで逃走した。

本件のタクシーは車体に会社名や番号の表示がなく、個人タクシーまたはもぐりのタクシーだった模様である。

2. 求められる対応

・タクシーに乗る際は信頼できる会社を選び、乗車前に車内を一見して、ダッシュボードに運転手の名札が表示されていないようなタクシーは、やり過ごして別のタクシーに乗るようにしてください。

・タクシーで不当な高額を請求をされたり、詐欺的行為に遭った場合には、必要以上に相手を興奮させないよう注意し、原則的には、相手の要求に従うようにしてください。